

深谷市教育委員会だより

## まころざし

発行・編集

深谷市教育委員会学校教育課

〒366-0823 埼玉県深谷市本住町17-3

TEL:048-572-9578 FAX:048-574-1744

E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

平成23年度 埼玉県小・中学校学習状況調査 深谷市結果より  
《深谷市内 中学校第2学年対象 4月25日実施 調査結果 概要》

## 国語

※表中の数値は、

平均正答率

評価の観点	県	市
国語への 関心・意欲・態度	63.7	63.3
話す・聞く能力	82.7	83.5
書く能力	64.6	65.0
読む能力	65.8	66.1
言語についての 知識・理解・技能	79.4	79.3

## 観点別結果から

## 【国語】

市と県を比較すると、観点ごとに1%前後の差であり、ほぼ同じレベルです。歴史的仮名遣いについての問題や自分の考えを記述する問題は、県より正答率が高くなっていますが、慣用句を使う問題、語句の意味の理解を問う問題等の「知識・理解・技能」に課題が見られました。

## 【数学】

全般的に県を上回っています。おうぎ形の面積や、角錐の体積を求める問題は県より正答率が高くなっていますが、対称移動の問題や文字式で表す問題等「表現・処理」の問題に課題が見られました。

## 数学

評価の観点	県	市
数学への 関心・意欲・態度	59.4	60.5
数学的な 見方や考え方	56.3	57.0
数学的な 表現・処理	65.7	66.1
数量や図形などに ついての知識・理解	53.3	54.4

## 社会

評価の観点	県	市
社会的事象への 関心・意欲・態度	73.5	75.5
社会的な 思考・判断	64.0	66.5
資料活用の 技能・表現	68.9	71.9
社会的事象につ いての知識・理解	60.8	65.8

## 【社会】

全般的に県を上回っています。地図の使い分けの問題や銅鑼の問題をはじめ「知識・理解」の問題は、県より正答率が高くなっていますが、鎌倉から室町までの政治や社会の移り変わりについての問題の正答率は県より低く、課題が見られました。

## 【理科】

全般的に県を上回っています。示準化石や物質の融点・沸点の問題をはじめ「科学的な思考」の問題は、県より正答率が高くなっていますが、植物体内の水が水蒸気となって出ていく気孔の問題の正答率は県より低く、課題が見られました。

## 理科

評価の観点	県	市
自然事象への 関心・意欲・態度	58.7	59.0
科学的な思考	38.7	40.9
観察・実験の 技能・表現	61.9	62.8
自然事象につ いての知識・理解	55.8	57.7

## 英語

評価の観点	県	市
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	58.5	63.5
表現の能力	33.9	33.2
理解の能力	68.2	70.1
言語や文化につ いての知識・理解	50.4	51.5

※ 数値は、観点別正答率

■	市が県を上回っている
■	市が県を下回っている

## 【英語】

全般的に県を上回っています。英語で自分の考えや気持ちなどが伝わるように書こうとする「関心・意欲・態度」、慣用表現を用いる問題等「理解の能力」は、県と比較して高くなっていますが、疑問文や否定文を正しい語順で書く「表現の能力」に課題が見られました。

① くしゅう・よしゅうを、② ていで、③ ちゃんと!

小さな ④ み重ねが大切です!



## 内容別結果から

### 国語

評価の観点	県	市
話すこと・聞くこと	82.7	83.5
書くこと	64.6	65.0
読むこと	65.8	66.1
言語事項	79.4	79.3

#### 【国語】

『いひければ』という歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改めることができる」「メモをもとに二文で書き、55字以上65字以内、敬体で書くという条件付きの意見文の問題」が県をそれぞれ8.3%、2.1%上回りました。

『肩を並べる』という慣用句で、4つの選択肢から『肩』を選ぶ問題や「語句の意味をとらえ、文章中からたとえに当たる言葉を選ぶ問題」は、県をそれぞれ1.8%、1.7%下回りました。

※ 語句や条件を与え、指定した文字数で「書く」活動等を継続的に行っていきましょう。

※ 慣用句を使って文を作ってみましょう。

### 数学

評価の観点	県	市
数と式	73.7	73.4
図形	49.6	51.4
関数	70.7	71.5
資料の活用	51.3	51.1

#### 【数学】

「半径6cm、中心角120°のおうぎ形の面積を求める問題」や「底面の1辺の長さが4cmで高さが6cmの正四角錐の体積を求める問題」は、県をそれぞれ7.9%上回りました。

「5つの合同な三角形の中から1回の対称移動で重ね合わせることでできる三角形を選ぶ問題」、「縦a m、横4mの長方形の面積を表す文字式を選ぶ問題」は、県をそれぞれ3.7%、3.2%下回りました。

※ 「数と式」に関する問題に積極的に取り組んでいきましょう。

※ 学習したことを振り返り、自分の言葉でまとめ、説明することができるようにしましょう。

### 社会

評価の観点	県	市
地理的分野	63.2	66.5
歴史的分野	64.6	68.4

#### 【社会】

「距離と方位を調べるという目的に応じた地図を選ぶ問題」「銅鐸の説明として正しいものを選ぶ問題」は、県をそれぞれ11.0%、8.9%上回りました。

「鎌倉から室町までの政治や社会の移り変わりを古い順に並べる問題」のみ、県を1.5%下回りました。

※ 様々な事象について自分の考えを持ちましょう。

※ 違いに着目しながら自分の言葉でまとめていくようにしましょう。

### 理科

評価の観点	県	市
第1分野	44.0	46.4
第2分野	53.7	54.9

#### 【理科】

「堆積した年代を決めるのに役立つ示準化石の条件を選ぶ問題」「量を多くしたときの融点と沸点について正しいものを選ぶ問題」は、県をどちらも5.9%上回りました。

「植物体内の水が水蒸気となって出ていく部分の名称を答える問題」で気孔と答えられたのは、59.9%で、県を1.6%下回りました。

※ 気孔は葉の裏側に多く、蒸散に深く関係することをおさえましょう。

※ 分析・解釈する力をつけるために、普段から結果と結論を分けてしっかり考察するようにしましょう。

### 英語

評価の観点	県	市
聞くこと	70.7	71.8
読むこと	65.8	68.4
書くこと	44.9	45.7

#### 【英語】

「友達がぶつかってきたときに、『だいじょうぶだよ』という基本的な慣用表現を用いた応答文を選ぶ問題」は、県を7.2%上回りました。「What do you usually do on Saturday?」の話しかけに対する答えの文と、それに続く文の2つを答える問題では、県を5.0%上回りました。

「否定の命令文を聞いて、それに適する応答文を選ぶ問題」「相手に今日は野球をしてはいけないと伝えるときの否定の文を正しい語順で書く問題」は、県をそれぞれ4.8%、2.5%下回りました。

※ 否定文についての学習を確実に身に付けるようにしましょう。

※ 語順を並べかえる学習に取り組みましょう。

※ 数値は、内容別正答率



各学校でも結果分析をし、2学期以降の学習に生かしていきます。